

■編集後記

2023年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、長い間中断されていた夏期ゼミナールが4年ぶりに開催されました。このゼミナールでは、附属幼稚園の先生をはじめとする、静岡県内の様々な園や施設の先生方と交流する貴重な時間を過ごすことができました。保育についての思いを共有する機会を持つことができたことを心から喜ばしく思います。

また、教員や学生による子育て支援などの活動も、ますます盛んになってきています。短大保育科の学生の皆さんが中心となって、「とことこサマーフェスティバル」、「こどものあそびばトコたんランド」、「こどもかぜのこまつり」などが行われました。これらの活動の一部も本誌に掲載され、内容の充実度が高まっています。

しかし一方で、2024年の年明け以降、国内外で災害や事故など、心を痛める出来事が頻発しています。このような出来事が起きることで、未来の予測がますます困難になっていると感じている人もいるでしょう。保育科生の皆さんや、皆さんがこれから出会う子どもたちは、まさにこのような予測不可能な未来を生き抜いていく存在です。不透明な未来に不安を感じることもあるかもしれませんが、皆さんが在学中に学んだ知識と技能は、きっと役立つことでしょう。本誌に記されている「保育科生学生の研究・実践報告」は、皆さんのこれまでの学修の成果を示すものとなります。

未来に向けて不透明な道のりかもしれませんが、この冊子が皆さんにとって一つの指標となり、さらなる成長の励みとなることを願っています。

(文責 木下 藍)

編集担当者／木下 藍

「保育と実践」第19号

発行日：令和6年3月15日〈非売品〉

発行元：常葉大学短期大学部 保育研究会

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6番1号

TEL (054) 297-6134

印刷：株式会社篠原印刷所